

女性活躍推進事業【高岡市】

地域の実情と課題

女性の就業にかかる環境の整備が進められている一方で、仕事と家庭を両立するための働き方の見直しが求められている。
本市は中小零細企業が多く、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に向けた取り組みはハードルが高いと思われるため、事業所の規模にかかわらずワーク・ライフ・バランスの推進に取り組むモデルケースの提示や、男性の家事・育児・介護等への参画促進により市民や事業所の意識啓発を図る必要がある。

事業の特徴

職場や家庭、地域などあらゆる場面で女性が能力を発揮するための意識啓発や、男性の家事参画を目的とした講座や講演会、ワークショップを開催し、様々な角度から女性活躍推進への意識啓発・理解の促進を図った。
また、事業実施時にはワーク・ライフ・バランス推進事業所の紹介や情報誌の配布等を行い、市民への周知と意識向上を図った。

事業の効果

ワーク・ライフ・バランス推進事業所について、期間内に新規認定した13事業所に認定証の授与を行い、事業について広く周知を図った。取り組み事例を紹介することで、中小企業においてもワーク・ライフ・バランスを達成できるという意識が定着しつつある。

目的・目標

【目 標】講座、EXPO参加者数：定員の70%以上

【実 績】参加者数 60人／定員100人

参加者数の目標には達しなかったが、ワークライフバランス推進事業所の認定証授与式に加え、具体的な取組事例を発表することとしたため、それを参考としたいという他事業所の参加もあるなど、意識啓発がなされた。

【目 標】講座企画団体の増加：5団体以上

【実 績】3団体

募集テーマとする「女性活躍推進」について、自らの企画がテーマに合致しないという判断から応募を見合わせた団体がある。募集の際に、より詳しい具体例の提示や相談に応じる旨を伝えるなど、市民がより参加しやすい表現の配慮をするべきであった。

連携団体

「高岡市男女平等推進センターネットワーク会議」

高岡市連合自治会、市各種委員会・協議会、富山国際大学、高岡商工会議所、NPO、男女共同参画市民団体等

今後の課題

講座のテーマの設定を、市民にとってより身近な親しみやすいものとするなど、若年層や子育て世代などを含め幅広い層への啓発を働きかける必要がある。

1 男女平等EXPO高岡開催事業

(1) 男女平等EXPO高岡2020

- ・ ワークライフバランス推進事業所認定証の授与式
- ・ ワークライフバランス推進事業所の事例発表及びパネル展示

(2) 粹メンプロジェクト

男性の家事・育児・介護等への参画促進を図り、リーフレットを活用した啓発を実施



2 女性活躍推進に関する講座

(1) 男女平等推進センター企画講座

女性が職業生活と家庭生活を両立しながら力を発揮するため、「高岡の女性リーダーに学ぶ」をテーマに講座を実施

(2) 男女平等推進センター市民企画講座

市民、市民団体、事業所等から女性活躍推進に関する企画を募集し、採用された3企画をセンターと連携実施

(3) 女性活躍推進セミナー

オンラインによる2講座を実施



3 高岡市男女平等推進プラン情報誌の発行

公募による市民編集員が企画・編集し、男女平等推進プラン情報誌「ありーて」20号を発行

<掲載内容>

- ・家庭のあり方と生活について考える
- ・高岡市の男女平等・共同参画推進の取組
- ・セピア色の写真から(高岡市に所縁のある女性の活躍について)
- ・センター活動登録団体紹介 ほか